

指定管理者事業報告概要

| 施設の概要 | | | |
|--------|----------------|-----|-------|
| 施設名 | 小山市勤労者総合福祉センター | | |
| 所在地 | 小山市犬塚三丁目1番地2 | | |
| 制度導入年月 | 令和4年4月 | 所管課 | 工業振興課 |

| 指定管理者の概要 | | | | |
|----------|-------------------------|-------|-----------|-------------|
| 指定管理者 | 一般財団法人 小山市勤労者共済サービスセンター | | | |
| 所在地 | 小山市犬塚三丁目1番地2 | | | |
| 指定期間 | 令和4年4月1日 | ～ | 令和7年3月31日 | 指定年数 3年 |
| 選定方法 | 指名 | 指定管理料 | 指定期間合計 | 48,000,000円 |
| 受託区分 | 新規 | | 令和5年度 | 16,000,000円 |

| 運営業務の概要 | | | | |
|---------|------------------|-------|------|----------------------------------|
| 主な業務内容 | 施設の利用等に関する業務 | 常駐職員数 | | 5人 |
| | 勤労青少年の福祉増進に関する業務 | 開館時間 | 平日 | 9時00分 ～ 21時00分 |
| | 建物及び設備の維持管理 | | 土日祭日 | 9時00分 ～ 17時00分 |
| | | 休館日 | | 青少年ホーム(土・日・祝日・年末年始) 体育センター(年末年始) |

| 利用実績 | | | | |
|------------|-------|-----------|-----------|--------|
| | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 前年比 |
| 利用者数(人) | — | 29,959 | 31,472 | 105.1% |
| 利用件数(件) | — | 2,467 | 2,389 | 96.8% |
| 使用料・利用料(円) | — | 1,696,000 | 1,687,000 | 99.5% |

| 収支実績 | | | | |
|-------|----------|------------|------------|--------|
| | 令和3年度決算額 | 令和4年度決算額 | 令和5年度決算額 | 前年比 |
| 収入(円) | 0 | 18,970,003 | 19,620,958 | 103.4% |
| 指定管理料 | — | 16,000,000 | 16,000,000 | 100.0% |
| 利用料 | — | — | 1,687,000 | — |
| その他収入 | — | 2,970,003 | 1,933,958 | 65.1% |
| 繰越金 | — | 0 | 0 | — |
| 支出(円) | 0 | 16,556,691 | 18,543,528 | 112.0% |
| 人件費 | — | 8,202,280 | 9,036,413 | 110.2% |
| 事業費 | — | 2,201,442 | 3,133,957 | 142.4% |
| 事務費 | — | 1,062,714 | 1,002,958 | 94.4% |
| 維持管理費 | — | 5,090,255 | 5,370,200 | 105.5% |
| 積立金 | — | — | 0 | — |
| 繰越金 | — | — | 0 | — |
| 収支(円) | 0 | 2,413,312 | 1,077,430 | 44.6% |

※利用料・積立金・繰越金(支出)項目は令和5年度に新設。そのため、一部項目は令和4年度以前と計上事項が異なります。

| 利用者アンケートの結果（満足度）※ 所管課が実施・判定 | | | | | |
|--|--------|---------|-------|------|---------|
| 5：80%以上 4：60～80% 3：50～60% 2：30～50% 1：30%未満 | 利用日・時間 | 使用料・利用料 | 職員の対応 | 業務内容 | 施設・設備管理 |
| | 4 | 3 | 3 | 3 | 2 |

指定管理者の自己評価

総合評価

| | |
|---|----------|
| S ：優良 A ：良 B ：標準 C ：要改善 D ：不適切 | B |
|---|----------|

評価理由、今後の課題等

令和5年度は、アフターコロナとして、以前のような活発な利用を目指しながらも、安心安全を心掛けながら、利用者の増加に努めて参りました。

●貸館利用・受付において
 曜日ごとに分けての受付を実施し、利用者の利便性・満足度の向上につなげました。また、コロナは5類に移行となりましたが、衛生管理のため、アルコール消毒液の貸出や設置、水分補給以外の飲食禁止等の感染対策に努めました。
 利用者数においては、青少年ホームは前年比120%程度まで増加しました。体育センターは、指定管理者で修繕が出来なかった、照度の問題があり、各種大会やイベントなどの利用中止などが多く、前年比90%程度となりました。

●青少年向け講座・クラブ活動等について
 青少年ホーム講座については、講座内容を創意工夫し、チラシやホームページも一新し、また当法人の会員向けの会報誌にも大々的に掲載し、受講者を増やしました。オンライン申込は好評であり、95%程度の利用となりました。また、令和4年度までは、対象年齢は39歳以下でしたが継続で参加したいとの声も多く、出会いの場としての青少年ホームの役割も鑑み、対象年齢を45歳までと広げました。
 青少年のクラブ活動については、実態調査の結果、7割以上が規約違反となる構成であったため、令和5年度は移行期間とし、対象年齢の緩和と共に是正してまいりました。その結果、16クラブ中6クラブが存続となり、引続きメンバーを集めているクラブも複数あります。
 ホーム祭・ボウリング大会・婚活パーティー・料理教室など、利用者向けのイベントを多数開催いたしました。

●職員の対応について
 利用者への丁寧で正確な対応を心掛け、また改善要望等については、迅速に対応してまいりました。その結果、利用者アンケートでも低評価と答えた利用者は3%程度と少ない結果となりました。今後も、引続き丁寧で正確な対応を心掛け、満足度の向上に努めて参ります。

●費用面において
 指定管理者である当センターの職員が同事務所で兼務することで、サービスレベルを下げずに人件費の大幅削減に努めました。各種費用においても、共有し費用削減に努めてまいりました。高騰する電気料金については、利用者にご協力をいただきながら、節電を心掛けた結果、コロナ前の利用制限のない年度と比べ、3か月分程度の電気使用量を減少させることが出来、前年度より100万円程度減少させることができました。

●施設管理において
 日々の清掃に加え、定期的に清掃業者による清掃も行い、会館を清潔に保ちました。また、施設の老朽化に伴い、修繕が必要なところは多くありましたが、可能な限り対処いたしました。例として、トイレ配管の大規模洗浄・和室ふすまの入れ替え、体育センター周辺の木々の剪定、ハチの巣駆除、卓球台の修繕などを行いました。一方で、所轄課様にもその他修繕のご協力をいただきまして、利用者の皆様の満足度の向上に繋がりました。引続きさらなるご協力をいただきたく存じております。

令和5年度実施 利用者アンケート結果の概要

| | | |
|--|---|---|
| 施設名 | 小山市勤労者総合福祉センター | |
| 指定管理者 | 一般財団法人 小山市勤労者共済サービスセンター | |
| 所管課 | 工業振興課 | |
| アンケート実施時期 | 令和5年12月 | |
| アンケート回答件数 | 477 | |
| アンケート結果の総評 ・ 利用日・時間 ・ 使用料・利用料 ・ 職員の対応 ・ 業務内容 ・ 施設・設備管理 ・ その他 | 好評だった点 | アンケート項目からは、「開館日・時間」「料金」「職員の対応」については、概ね好評であった。指定管理2年目として、1年目以上の対応などを心がけたためと考えている。自由意見からは、立地の面・駐車場の広さなども好意的な意見が多かった。照度の問題はあったが、利用者のニーズが伺えた。 |
| | 不評だった点 | 好評だった項目と比べ、「施設や備品」については、「やや不満」「不満」と回答する利用者が多かった。大きな理由としては、体育センターの照明が半分以上切れていることや、両施設とも老朽化が挙げられる。 |
| アンケート結果から、改善等を実施したこと（予定含む） | 体育センターにおいては、卓球台や扉の修繕をし、周辺の木々の伐採などをすると共に、毎週照度を計測し、ご利用環境の整備に心がけた。青少年ホームにおいては、和室の修繕・トイレの大規模洗浄などを行い、老朽化が進む中でも、快適な環境整備を心がけた。 | |